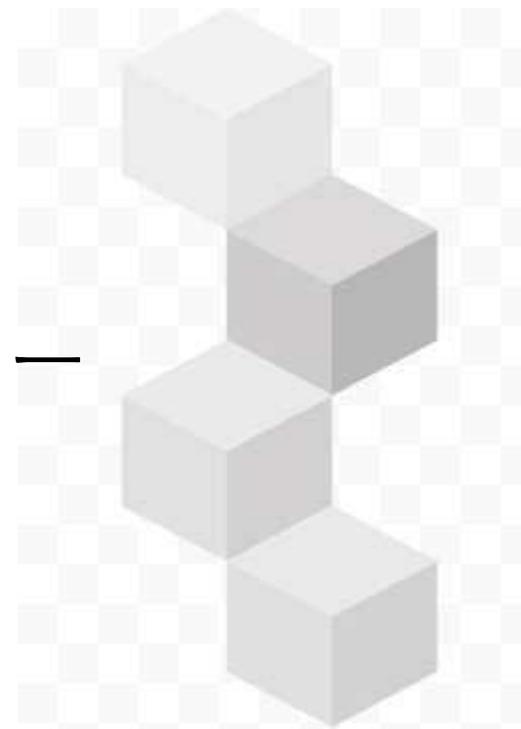




京都式農福連携事業の現状と今後の展望

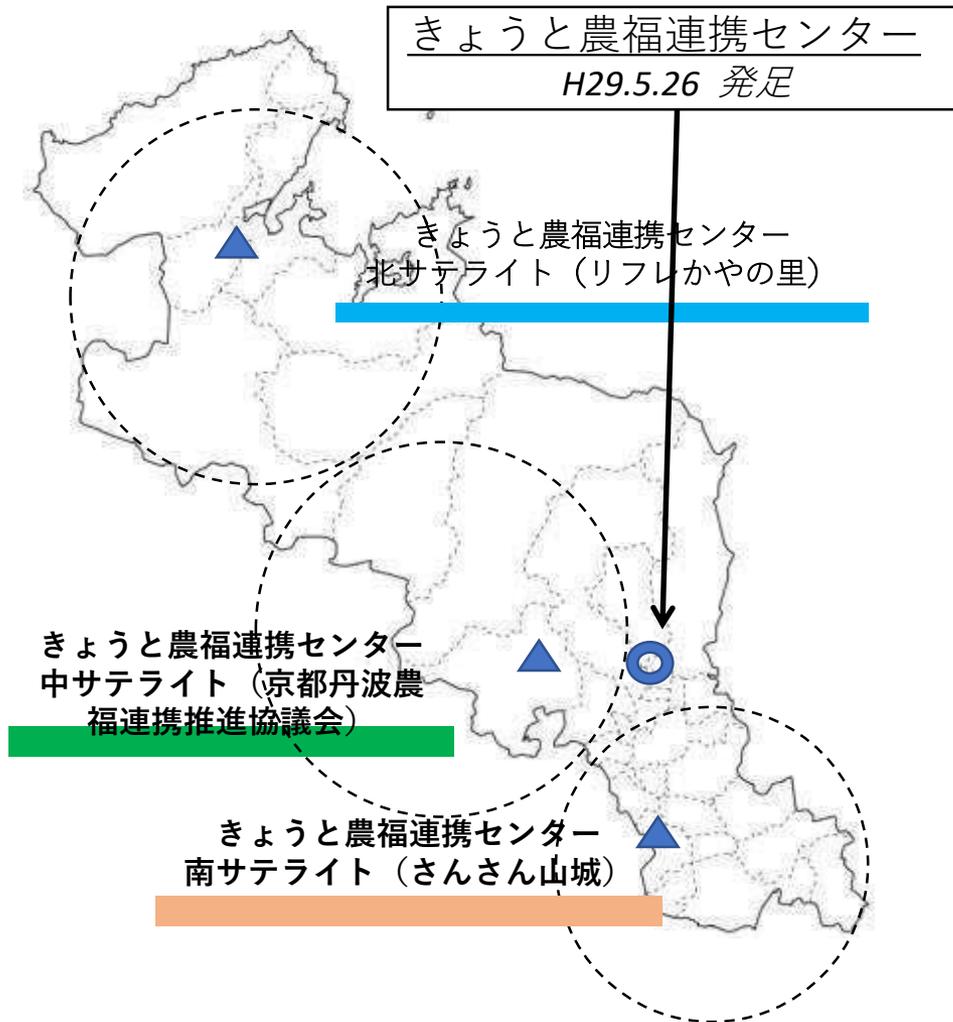
令和3年3月8日

きょうと農福連携センター



◆京都式農福連携事業の事業展開

きょうと農福連携センター及び北部・中部・南部のサテライト（拠点事業所）を中心に地域に応じた農福連携を推進



- ・平成28年の府庁マルシェ開催を契機に、翌年度センター設立
 - ・農福連携補助金、アドバイザー等派遣、チャレンジアグリ事業等、マルシェ等の実施
 - ・就労継続支援事業所（約390）のうち、約60事業所が農福連携に取り組んでいる
 - ・農福連携事業所（B型）の平均月額工賃^{③〇}18,710円
- ※府全体（B型）平均月額工賃
16,033円

きょうと農福連携センター（事務局：京都府障害者支援課）

事務局体制

- センター長：健康福祉部
- 副センター長：健康福祉部副部長
農林水産部副部長
- センター員：障害者支援課、農政課職員（計9名）
- センター付アドバイザー：農業・福祉・共生社会に関する有識者等（計6名）



農福連携の取組

京都農福・共生戦略会議の意見を踏まえ、京都式農福連携事業を推進

- ①京都式農福連携補助金事業
- ②障害福祉事業所への技術指導・アドバイザー等派遣
- ③農福連携キャリアパス制度の運用（チャレンジ・アグリ認証）
- ④ノウフクマルシェ等の開催、大学連携事業

京都農福・共生戦略会議 有識者構成員

立命館大学産業社会学部教授	景井充	JA共済総合研究所主任研究員	濱田健司
龍谷大学名誉教授	河村能夫	JAグループ京都農業法人協会	柿迫義昭
半農半X研究所代表	塩見直紀	府社会福祉協議会常務理事	余田正典
府知的障害者福祉施設協議会会長	樋口幸雄		

農福連携の取組

- ・ レストラン・ホテルや大浴場を運営。地元の新鮮な食材を活用したラッチビュッフェを営業
- ・ 農産加工所を併設しジュース、ジャム、缶詰などの食品加工を手掛け、地元企業や農家からの依頼を受けて地域特産づくりを推進
- ・ 農産直売所の運営と、地元農家と連携した直売活動を展開。
- ・ 地域農家の人手不足を応援する「援農隊」事業を行い。繁忙期等に地元農家の施設外就労を実施



農福連携の取組

- ・ 京都丹波地域の農福連携推進協議会を中心に地域が連携して、マルシェやフォーラムの共同開催、農業技術の研修などの地域連携を推進
- ・ 中心となっている亀岡福祉会の作業所では、加工設備を利用した食品加工や、地元の農家からのニーズに応じて農作業や草刈り等の請負を実施



京都丹波地域農福連携推進協議会

H29.6 発足

南丹圏域における、障害者の就労を進めるとともに、社会参加や共生社会の実現を目指して、地域特性を活かした農福連携の取組を推進するため「京都丹波地域農福連携推進協議会」を設置。

■構成

- ・ 管内の障害福祉サービス事業所（就労A型、B型、生活介護事業所）
- ・ なんとん障害者就業・生活支援センター
- ・ 行政（南丹広域振興局農林商工部、南丹農業改良普及センター、南丹保健所）

南サテライト（福）京都聴覚言語障害者福祉協会「さんさん山城」（京田辺市）

農福連携の取組

- ・山城地域の特産品であり宇治茶、京都えびいも、京都田辺なすなどの生産を行い、JAにも出荷。
- ・手摘みの高級抹茶を使用した「濃茶大福」「抹茶クッキー」、京都えびいも使用の「えびいもコロッケ」などを販売。
- ・地域交流のための「さんさん山城マルシェ」を定期実施、コミュニティカフェでは、生産した野菜等を使ったランチを提供。



■タキイ種苗株式会社との連携協定締結

○2017年8月25日、タキイ種苗株式会社と京都府との間で

「京都式農福連携構築事業に関する協定」を締結。

農福連携を軸に、京都式地域共生社会づくりを推進するため、主に以下の内容について、タキイ種苗株式会社の協力を得る。

- ・農福連携に取り組む事業所に対し、農業技術の指導を実施する。
- ・「チャレンジ・アグリ認証」などにおいて講師派遣を行う。 など



福祉事業所へのアドバイザー等の派遣

- ・各農業改良普及センターの技術指導
- ・連携協定を締結しているタキイ種苗(株)の技術指導員による指導
- ・きょうと農福連携センター付アドバイザー派遣

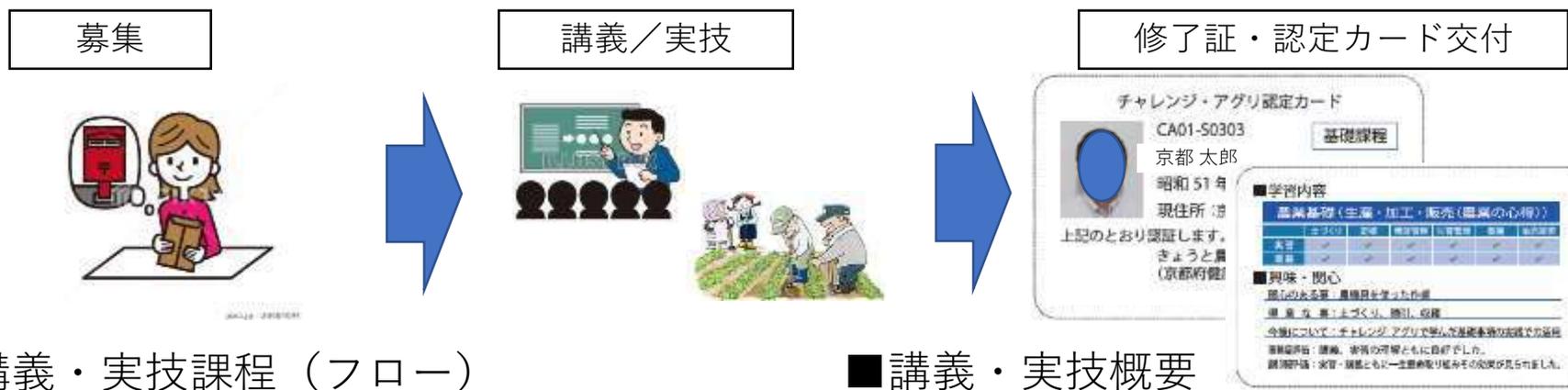


※センター付アドバイザー一覧

職名	氏名
株式会社農環 代表取締役	高橋 信二
金城学院大学 講師	橋川 健祐
農林水産業ジョブカフェ 相談員	乾 多津子
ソフトプラウ 代表	松井 宏次
山城ごはん実行委員会 代表	堤 明日香
京都移住コンシェルジュ	藤本 和志

■チャレンジ・アグリ認証基礎課程（概要）

講義、実技による全6回（30時間）の課程を通じて、農業の基礎について体得し、農業での働きがいや、作業技術について習得する。



■講義・実技課程（フロー）

1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目
第1回（畑づくり） 第2回（定植） 第3回（生育管理Ⅰ）	第4回（生育管理Ⅱ）	第5回（収穫準備） 第6回（収穫～販売）

■講義・実技概要

- 目的
 - ・障害者の農業に対する知識・技術の見える化
 - ・就労や社会参加へのモチベーションの向上
 - ・作業工賃等に関する処遇改善
- 対象
 - ・農作業に従事する障害者（特性要件を設けない）
- 認証（評価）
 - ・学習到達度及び就労適性等について評価

■令和2年度チャレンジ・アグリ認証の実施概要

- ・実習は地元の農業者、講義はタキイ種苗株式会社の技術指導員が指導
- ・農業改良普及センターより、安全・衛生管理や農薬の使用方法について特別講義を実施



項目	中部（南丹市）	南部（京田辺市）
実施場所	実習：しぜん塾やぎ農園ほ場 講義：園部半田文化センター	実習・講義：さんさん山城
題 材	ミニトマト	コマツナ
修了者数	4名	6名
実施期間	7 / 28 ~ 10 / 14（6日間）	9 / 16 ~ 10 / 29（6日間）

■令和2年度チャレンジ・アグリ実践課程の概要

○実践課程とは...

- ・利用者に農業に関する基礎技術・知識を習得させたいと考えている事業所に対し、希望する栽培品目を題材として、出張形式で講義及び実習による講座を開催
→基礎課程をベースに現場のニーズに合わせたカリキュラムにて実施

項目	北部（与謝野町）	南部（井手町）
実施場所	リフレかやの里	工房あんじゅ
題 材	九条ネギ	スナップエンドウなど
受講生数	15名	4名
実施期間	11/4～2/17（5日間）	12/3～2/18（4日間）



京都式農福連携補助金



福祉事業所が取り組む農福連携をハード・ソフト両面で支援

※H29～R元補助金交付実績：のべ38事業所 計約1億2000万円交付

補助区分	対象経費	R2対象事業（例）
農福連携スタートアップ枠	新たに農福連携に取り組む事業所を対象に初期投資費用	<ul style="list-style-type: none">・ビニールハウスの設置・菓子製造の加工設備の整備・地元特産わさびの人工栽培設備の整備
地域共生社会推進枠／地域課題対策枠	農福連携を通じた障害者の社会参加促進や、農福連携の普及啓発に要する費用	<ul style="list-style-type: none">・地元農家と連携した京野菜のオンライン販売サイト構築・冬季の椎茸栽培のためにエコな温水循環薪ストーブの整備
6次産業化推進枠	利用者の工賃向上に向けた6次産業化に取り組む費用（※事業計画作成にあたりアドバイザーによる支援）	<ul style="list-style-type: none">・宇治茶栽培の設備整備・ビール製造のための発酵タンク、貯蔵設備の整備・地元特産のイチジクを生かした洋菓子製造設備

◆ノウフクマルシェ等の開催・出展
 農福連携製品の販路拡大や障害者の社会参加の
 促進のために府内各地で実施



令和元年度 実施イベント

主催者等	日程	開催場所	イベント名	備考
南サテライト	R1.5.11～26	さんさん山城（京田辺市）	ノウフク茶つみの集い	一般府民や子育て団体向け山城地域のお茶つみイベント
中サテライト	R1.10.6	亀岡運動公園（亀岡市）	かめおか農福マルシェ	若手就農家や農事組合とも連携して出展
北サテライト	R1.11.17	丹後王国「食のみやこ」（京丹後市）	自然とふれあうノウフクマルシェ	丹後王国の行事の一環として開催販売の他、苗植え体験等実施
府センター	R1.10.26	京都府庁	ノウフクマルシェ×観芸祭2019	京都市内の福祉事業所が中心
府センター	R1.11.31～12.1	京都パルスプラザ	京都府農林水産フェスティバル2019	ブース出展
府センター・全国ネット	R2.1.25～26	イオンモール京都桂川	ノウフク新春大感謝市	京都府内の福祉事業所が中心

ノウフク

農
+
福

KOYO

2021

農業と福祉をつなぐ未来
ノウフクマルシェが自信の品を届けます

産地直送の野菜や果物、オリジナル商品をご提供します。

ノウフクMARCHE 2021
in イオンモールKYOTO

日時：令和3年1月23日(土)・24日(日) 10:00~18:00
場所：イオンモールKYOTO Sakura館 1階センターコート (伊勢丹京都店・京都市役所)
※1階1号コート(農産物センター)は別棟
※2階1号コート(野菜・果物)は別棟
※3階1号コート(食品)は別棟
※4階1号コート(雑貨)は別棟
※5階1号コート(ファッション)は別棟



ノウフクMARCHE2021

※コロナのため中止



ノウフク

農福連携(ノウフク)とは

障害のある方が、農産物の生産・加工・販売を通じて
地域で活躍する機会をつくる取り組みです。

ノウフクMARCHE 2021
in イオンモールKYOTO

● 出店福祉事業所

出店福祉事業所	所在地	生産品名	23日	24日	出店福祉事業所	所在地	生産品名	23日	24日
【福】京のはあと製品 リフレインの里	京都府 与謝郡 加茂町	生鮮野菜 加工品 他	○	○	【福】京のはあと製品 ライフセンターHale	京都府 木守町	生鮮野菜 他	○	○
【福】鳥羽福祉 センターの里	京都府 鳥羽市	漬物 加工品 他	○	○	【福】京のはあと製品 エムワグワグ	京都府 高区	生鮮野菜 加工品 他	○	
【福】京都府立 総合福祉センター たんたん山崎	京都府 京田辺市	えびら 加工品 他	○		【福】京のはあと製品 おもしろい学園	京都府 伏見区	生鮮野菜 加工品 他		○
【福】京のはあと製品 フーズショップサカキエ	京都府 向日市	漬物 加工品 他	○		【福】京のはあと製品 ピエール	京都府 八幡市	生鮮野菜 加工品 他	○	○
【福】京のはあと製品 地144福祉作業所	京都府 向日市	生鮮野菜 加工品 他	○		【福】京のはあと製品 センター	京都府 向日市	生鮮野菜 加工品 他	○	○
【福】京のはあと製品 豊後町福祉センター	京都府 宇治市	生鮮野菜 他	○						

● 併設「京のはあと製品」新製品ご紹介コーナー

京都府内の福祉事業所が新たに開発している製品をご紹介します。

出店福祉事業所	所在地	生産品名	23日	24日	出店福祉事業所	所在地	生産品名	23日	24日
【福】京のはあと製品 豊後町	京都府 宇治市	生鮮野菜	○		【福】京のはあと製品 ピエール	京都府 八幡市	生鮮野菜 加工品	○	
【福】京のはあと製品 しあわせの里	福岡県 糟粕川町	干菓子	○		【福】京のはあと製品 センター	京都府 向日市	生鮮野菜 加工品	○	



各地域の福祉事業所から
生鮮野菜、ジュース、焼菓子等
さまざまな商品を販売します。



京都府新総合計画～京都夢実現プラン～ (令和元年10月策定)

- 京都府の目指す方向性を示した基本計画（計画期間：4年）
- 「20年後に実現したい姿」を目指して取り組む
 - 「障害のある人もない人も地域の担い手となり、地域で安心して暮らせる共生社会」
- 今後の取組
 - ⇒ 農福連携製品の6次産業化やブランド化を支援し、京都式農福連携事業を生かした農業分野での就労を促進
- 数値目標 農福連携事業所の工賃（賃金）支払総額
基準値(H29)114,096千円→目標値(R5)200,000千円

京都府内の先進事業所事例：(NPO)HEROES(京都市上京区)

農福連携の取り組み：クラフトビールの醸造

平成29年8月より、事業所内の発酵・貯蔵タンクを活用してクラフトビールの醸造を開始。

○ビールに障害のある方が栽培した原料を用い、「農福100%」のビールを醸造。

- ・大麦→群馬県前橋市の障害福祉事業所「菜の花」生産。
- ・ホップ→宮城県石巻市のソーシャルファーム「イシノマキ・ファーム」生産。

○ビールのフレーバーとなる材料に京都府産の原料を使用。

- ・柚子→京都府南丹市産の向山ゆずを使用。一部農作業にはHEROES利用者も携わる。
- ・茶葉→京都市北区中川地区で生産された日本最古の茶葉「まんま茶」を使用。



京都府内の先進事業所事例：(NPO)HEROES(京都市上京区)

農福連携の効果・実績

- 農福連携の優れた事例と認められ、「ノウフク・アワード2020」優秀賞を受賞。
- 醸造したビールの品質が高く評価され、数多くの賞を受賞。
 - ・ジャパン・グレートビア・アワーズ2020銀賞（室町セゾン、Sweet Ginger Ale）、銅賞（白夜にレモンエール）
 - ・インターナショナルビアカップ2020 銅賞（室町セゾン）
- 6次産業化により、高工賃・工賃向上を実現。
 - ・就労継続支援B型：48,261円（R1年度）
 - ・生活介護：1,750円（H29年度）→4,550円（R1年度）

